

令和 5 年度「新潟県産食品フェア in 香港」募集要項

新潟商工会議所では、日本食品の人気が高く、日本からの農林水産物・食品が数多く輸出されている有力マーケット“香港”において、大手日系スーパーで新潟県産食品をPRするフェアを開催し、県内企業の海外展開促進と同国への輸出拡大を支援します。

1. 事業概要

新潟県産食品等の香港での販路開拓を支援すべく、香港にある大手日系スーパー“DON DON DONKI”において約2週間にわたり「新潟県産食品フェア」を実施します。本事業では初めて輸出に取り組む企業でも参加しやすいように、国内取引同様に国内輸送・国内決済となるため、県内食品関連企業等の海外展開へのチャレンジを後押しするとともに、現地で得られた消費者の声を参加企業にフィードバックすることで、今後の海外展開の商品改良に活かしていただけます。

2. 実施店舗について

(1) DON DON DONKI について

- ▶ 2017年12月にオープンしたシンガポールを皮切りに、シンガポール(16店舗)、タイ(10店舗)、香港(11店舗)、マレーシア(3店舗)、台湾(2店舗)、マカオ(1店舗)に出店を果たし、米国も含めて世界103店舗を展開している。
- ▶ 「DON DON DONKI」は店内ほぼすべての商品をメイドインジャパンもしくは日本市場向けの商品でラインナップする“ジャパブランド・スペシャリティストア”をコンセプトとした海外仕様の業態となっている。



(2) 新潟フェア実施店舗について

- 店舗名：OPモール本店（海之戀本店）
- 創業年：2019年12月開業（2号店）
- 営業時間：9：00～25：00
- 客層/客数：ニューファミリー層/約4,000人
- 売場面積：2,851㎡（香港最大）
- 店舗概要：2021年9月に大規模リニューアルを行い、売上は世界のPPIH（旧ドンキホーテHD）の中でトップクラスを誇る。店舗テーマは「祭り」とし、賑やかさを演出している。日本のドンキとは異なり、食品や農産物の売場が多数を占める。
- 立地：香港中心地から10km程離れた九龍エリアと新界エリアの境目に位置するエリア。新界は近年の人口増加に伴い大型の商業施設や住宅地が開発されるなど目覚ましい発展を遂げており、なかでも10年ほど前から高層マンションなど新たな住宅の建設が多く、新界有数の人口流入地域となっている。



3. 事業内容について

(1) フェア販売の実施

- ▶ 会期中に右記写真のような新潟ブースを設置し、県産食品を販売し、現地市場への認知度向上を目指します。
- ▶ 売場は商品ごとにPOPを作成し、商品の魅力をPRします。
- ▶ サンプルをご提供いただける商品については、試食プロモーションの実施を予定しております。



《会場の参考写真》

【会 期】 令和5年12月2日(土)～12月17日(日)

【売場面積】 約7.5坪

【棚 情 報】 ゴンドラ数8個程度(1ゴンドラ：縦2m×横1m)

(2) プロモーション手法

- ① 店舗内に販売員(マネキン)を配置し、販売サポートを行うため、原則、事業者様の渡航は不要です。なお、自社で現地に渡航し、自ら販売をご希望の方は新潟商工会議所までご連絡ください。
- ② 現地KOL(インフルエンサー)に依頼をして、「新潟フェア」の周知を行うとともに、サンプルをご提供いただいた商品については試食・試飲などをしてもらい、商品のフィードバックをしていただく予定です。
- ③ 会期中には、ブースへの誘客と新潟地域のPRを行うことを目的に、下記のイベントを実施予定です。

第1週	SNS周知企画イベント	来店した方のなかで、「販売商品」や「新潟フェア」をSNSで投稿した方に、当所ノベルティをプレゼントする企画を実施予定。
第2週	日本酒試飲イベント	日本酒飲み比べ(種類・温度を変えて飲み比べ)を通して、酒どころ「新潟」の魅力をPRする。

(3) 継続販売に向けた働きかけ

- ▶ 本フェアで売れ行き良かった商品については常設するように働きかける。
- ▶ 本フェアを現地バイヤーに周知をし、バイヤーが気になる商品があればオンラインで商談できるような枠組みを構築予定です。

(4) 販売データのフィードバック

- ▶ 参加企業全社には各商品のテスト販売のデータを提供しますので、今後の輸出戦略の参考にさせていただきます。
- ▶ サンプルをご提供いただける企業様で、出品商品の中から1商品、現地消費者による試食アンケート調査を実施できます。実施した企業様には、試食アンケートの結果もフィードバックさせていただきます。

4. 募集概要について

(1) 参加条件

新潟県内に本社、事業所等を有する生産者または食品関連事業者等

(2) 対象商品

- ①常温で販売できる加工食品及び農林水産物等（アルコール飲料・健康食品も含む）
- ②既に香港ドンキ OP モール本店で販売していないもの
 - ・ご不明な場合は JAN コードで確認することができますので、当所までご連絡ください。
- ③加工食品は賞味期限が3か月以上であることが望ましい。
- ④商品サイズが縦 1.1m・横 1.1m・高さ 1.1m を超えない商品（目安として）
 - ・上記サイズを超える場合は当所までご連絡ください。
- ⑤香港の輸入規制に該当しないもの（各事業者様でご確認をお願いいたします。）
 - ・ご注意いただきたい輸入規制状況
甘草（カンゾウ）、クチナシ色素、紅花色素、紅麴色素 等
香港の食品輸入規制は以下 HP 等をご確認ください。
【ジェットロ HP】 <https://www.jetro.go.jp/world/asia/hk/foods/exportguide/>

(3) 募集商品数

30社（1社あたり最大5商品） 計150商品を想定

【留意事項】

- ・申込多数の場合は、先着順とさせていただきます。
- ・本事業にて、参加事業者様が損害や不利益を被る事態が発生したとしても、当所及び(株)トライウェイの故意または重過失によるものを除き、その責任を負わないものとします。
- ・本事業にて、事業参加者自らが製造、加工又は原材料、賞味期限の一定の表示に関して、万一商品の瑕疵により他人の生命、身体又は財産を侵害した時は、過失の有無、第三者の翻訳の再に関わらず、これによって生じた損害については、当所はその責任を負わないものとします。

(4) 事業者負担

- ① 参加費
 - ・新潟商工会議所会員事業者 **無料**
 - ・当所非会員事業者 **5,000円（税込）**
※採択通知のご連絡（9月下旬頃）と合わせて請求書をお送りいたします。
- ② 商品の日本国内指定倉庫(燕市)までの輸送費用
- ③ 試飲・試食用の商品（消費者アンケート調査を希望の場合）
 - ・サンプル提供は 1社あたり1商品を想定。
 - ・サンプルのロットは事前打ち合わせの際に決めさせていただきます。

5. 仕入条件について

委託販売方式（売上代金は事業終了後に一括清算）

- ▶ 仕入価格は、国内小売価格の60～70%目安となるが、香港での販売価格、物流コスト等を勘案のうえ、参加企業との打ち合わせにより価格は決定する。
- ▶ 商品のロットは最低ロットを基本として事前打ち合わせの際に決定する。
- ▶ フェアの後半で在庫が残っている商品は、参加企業とご相談のうえ、セール販売を実施する可能性がある。
- ▶ 事業終了後、売れ残りの商品は現地で処分いたしますので返送はできません。そのため、販売した商品分のみの金額をお振込みいたします。

6. 申込方法

- ① [申込フォーム](#)または、右記 QR コードからお申込をお願いいたします。
- ② その後、お申込いただいたメールアドレスに「商品エントリーシート」をお送りいたしますので、必要事項をご記入のうえ、当所までご返送をお願いいたします。



【エントリーシート送付先】 seisaku@niigata-cci.or.jp

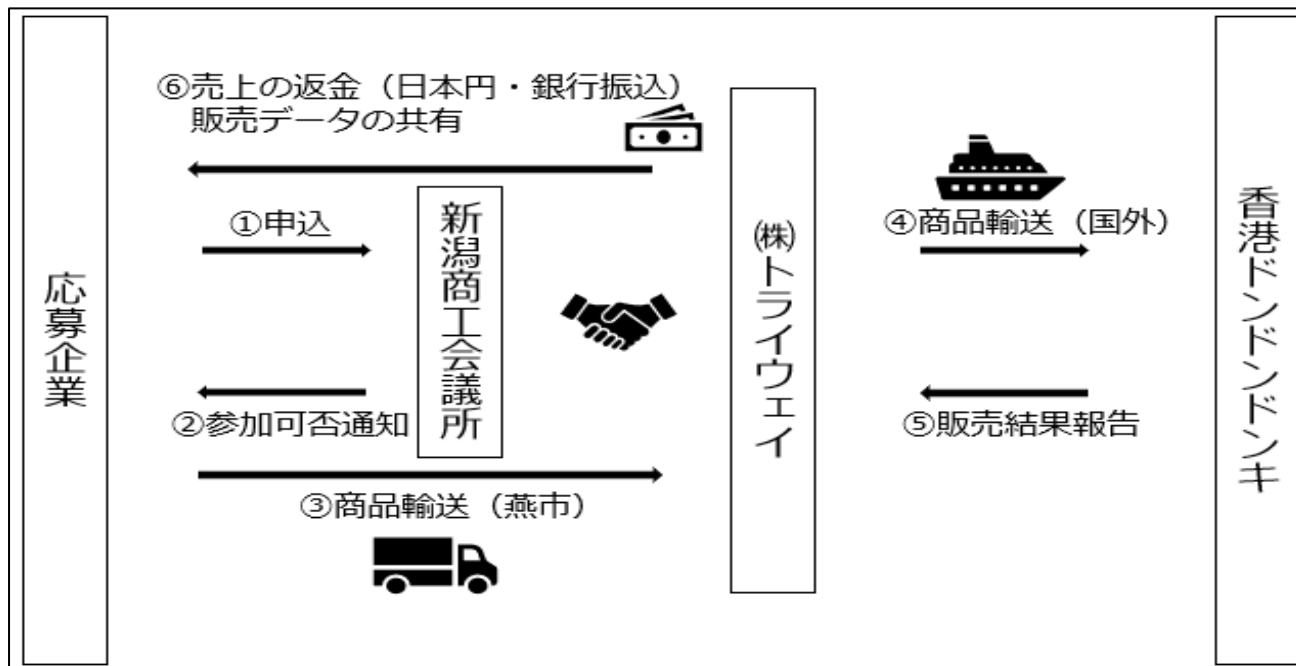
申込締切 9月15日(金) 17:00まで

※参加企業の採択結果については9月下旬に新潟商工会議所からお知らせします。

7. 事業スケジュールについて

9/15日(金)	参加企業募集締切 → 随時商品エントリーシート審査
9/22日(金)まで	参加企業の決定
10月上旬	事前打ち合わせ(オンライン)、商品数・商品価格の決定
10月中旬～下旬	商品納品(国内渡し)、香港への輸送
11月下旬	商品香港到着
12/2(土)～12/17(日)	「新潟フェア」の実施(約2週間)
令和6年1月頃	販売データのフィードバック、売上の返金、事業完了

8. 事業スキームについて



【(株)トライウェイについて(代表取締役:木村直人氏)】

代表の木村氏は、早稲田大学を卒業後、2004年三井物産(株)に就職し、船舶や航空機売買等の貿易関連業務に従事。退職後、香港へ留学し2016年に香港科技大学にて経営学修士号(MBA)を取得。2017年、新潟市西区に地域商社として(株)トライウェイを設立。食品の海外輸出と訪日インバウンドツアーの手配等を展開し、地方のグローバル化の促進を支援。社名は買い手よし、売り手よし、世間よしの「三方よし」に由来し、地方と世界を繋ぎヒト・モノ・カネを循環させ地域を活性化させることを目指している。

9. 香港市場について(参考)

- ▶ 香港の人口規模は約 730 万人で埼玉県と同規模（新潟県の約 3.4 倍）。高い購買力、日本産品の高い知名度、関税や規制の少なさ等もあり、過去 10 年のうち 9 年で日本からの農林水産物・食品の輸出先 1 位の国・地域となるなど、日本産品が多く輸出されている。
- ▶ 輸出に対するハードルが低く、初めて食品の輸出にチャレンジする際のおすすめのターゲット国となっている。

理由①ほぼ全ての食品を輸入に依存しており、海外産品を受け入れる素地がある。

理由②消費者の所得が高く、購買力が高い。

理由③関税は基本フリーで、輸入規制等も比較的少ない。

- ▶ 日本との距離が近く、訪日者数（割合）も世界トップレベルで多い。
- ▶ 香港は日本食の人気が高く、日本食レストランも増加傾向にある。
- ▶ 中国本土やアジアへのショーケース機能としての役割を果たしている。

日本産農林水産物・食品輸出額（2022 年度）

国/地域	輸出額(億円)	構成比(%)
1 中国	2,783	20.8
2 香港	2,086	15.6
3 アメリカ	1,939	14.5
4 台湾	1,489	11.1
5 ベトナム	724	5.4

外国人の訪日旅行者数（2019 年度）

国/地域	人口(百万人)	訪日旅行者数
1 中国	1400.5	9,594,394
2 韓国	51.7	5,584,597
3 台湾	23.6	4,890,602
4 香港	7.5	2,290,792
5 アメリカ	328.2	1,723,861

10. その他注意事項

- ▶ 販売スペース及び配置については、当所と(株)トライウェイが決定します。
- ▶ 参加商品選定後であっても、事業参加者様が本募集要項記載の参加条件を満たしていないことが判明した場合、参加をお断りする場合がございます。
- ▶ 東京電力福島第 1 原子力発電所の処理水の海洋放出が夏頃から開始される日本政府の方針を受け、香港において水産品の輸入規制が生じる可能性が懸念されます。これに伴い、今後の香港政府の発表次第では商品の出品が取りやめとなる場合がございますのでご了承ください。

【お問合せ先】

新潟商工会議所総合政策課 金田

メールアドレス：seisaku@nigata-cci.or.jp

TEL：025-290-4207 FAX：025-290-4421